

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 160 『隠忍自重』 いんにん じちょう

< 意味 > 怒りや苦しみなどをじっとこらえて、軽々しく行いをしないこと。また、そうすべきであるとする戒めの語。対義語に「軽挙妄動（けいきよもうどう）」があります。

表 現 : 隠忍自重の毎日

用 例 : 広田も、さすがに憤然とした。「組閣を全うするように」との要請もわかるが、もはや隠忍自重も限度だと思った。<城山三郎・落日燃ゆ>

語 釈 : 「隠忍」はつらさなどを表面に出さないで、じっと堪え忍ぶこと。ほんとうの気持ちを秘めて、こらえ忍ぶこと。「自重」は自分の行動を慎むこと。

一 言 : コロナウイルスによる感染がなかなか収まらない中、いま医療や保健所などの現場で頑張っている人たちは、まさに隠忍自重の毎日でしょう。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」